

(2026年度 第1回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時：2026年4月25日(土) 13:00～:15:00

場所：山王集会所

出席：22名 欠席：なし(役員：22名)

■新任役員自己紹介&アドバイザー紹介

新任役員は 班長名簿参照

前 防犯部長 伊藤さん

前 副会長 稲熊さん

前々期 総務部長 山之内さん

アドバイザーは役員会、班長会に参加するが議決権を有しない。

■自治会の在り方に関して

・目的：住民同士の間関係づくりと福祉の向上。特に班長49名がお互いを知り相手の意見を認めともに目的に向かって活動することが重要。

・課題：自治会加入率低下、高齢化、班長/役員の手不足を解決するため班長の任期を含め議論していく。

自治会の持続可能な運営に向け、役員体制、役員任期、活動(イベント等)の見直しを検討していきたい

持続可能というのは連続性、継続性の観点、班長/役員が苦しんでまで担うものではないはず

地域住民が集う場を今までとは異なる形で検討していきたい、集会所利用率向上にも寄与することになる

■夏祭りに関して

・課題：酷暑、行事部の準備負担が大きい、スタッフ不足、やぐら/照明等の外注費用が高い

行事部の負担感で言うと、3月くらいから消防署、保健所等との折衝、当日前後は3日間、8時～

22時近くまでの拘束、ボランティアを募集してもほとんど集まらない、外部団体との連携不足などがある。

一方で、「地域住民の交流の場は必要」との意見も多いが、参加者(参加住民割合)は抽選券ベースで25%程度、というのが現実である。

・代替案意見として開催時期の変更、規模縮小・集会所の活用、小規模イベントの複数開催、子供中心から大人も楽しめる内容、集会所裏にキッチンカーを招く、屋内での文化祭型イベント等 を検討する。

行事部が5月までに『(旧)夏祭り』のフレーム(枠組み)、タイムライン費用を検討する。

行事部任せにせず、自治会役員全体で支える体制が必要との認識を確認した。

■各部署の課題/状況説明

★防犯部

・山防会の活動を継承していきたい。

・防犯カメラ(現状11台)の維持運用に関して 検討する。

★防災部

- ・防災訓練の実施(全住民参加型)
- ・防災備品整備 (市および県の助成金活用)

★環境部

- ・草刈りボランティア 26 年度メンバー募集、安全対策・機材整備を行う。
講習会を実施し、故障したエンジン機の代替として安価な充電式機を複数台導入の検討も行う。

★施設部

- ・防火管理体制見直し (現在、会長が防火管理者と防火権限者を兼務している)。
- ・来月の班長会で防火訓練を実施。
- ・コピー機 (複合機) のリース契約が 4/1 付で切れていた。
会長、副会長、施設部長との協議により、複合機を新規でリース、機器の入れ替えを実施した。
従量課金でモノクロだと 2.5 円/枚、カラーだと 15 円/枚かかるため必要がなければカラーは避ける。
- ・印刷機のリースは 7/1 付で期限切れとなるため、こちらも機器の入れ替えを実施した。
- ・集会所入り口扉、ダンパが老朽化してしまっている、安全面での対応を検討する。

★福祉部

- ・愛光との連携、協働は、継続し、自治会としての具体的な活動を考え、愛光との連携も検討し相談していく。

★会計部

- ・自治会費の徴収について検討する (1 回または 2 回)。
振込、クレジットカード決済、コンビニ決済など過去検討されたが、
手数料がかかり、オンライン決済対応可能世帯の割合や引き落としできた世帯、できなかった世帯のリストを作成し、できなかった世帯の回収は班長が集金することになるため採用していない。
会費徴収をする際に顔合わせて話が出来る側面もあるため年 2 回が良いのではないかとの意見もあった。

★総務部

- 契約書類の一元管理を徹底し、
重要書類は総務で正本管理し、各部は副本保管とする。また種類を含めて情報の引継ぎを行う。

★監事

- 今期は 1 名体制だが、監事の役割が曖昧(夏祭り会計監査、年次予算監査)。
業務監査まで求めるものではないが、有るべき姿を引き続き検討、1 名で対応可能かどうかで言えば
対応は可能との認識をしている。

★書記

- 議事録として大事なことは、何について、どのような議論がなされ、どういう結論になったか、を要約するもの。
誰が何を言ったのかの一言一句を記録するものではないと考える。形式を検討する。

- さくら山王集会所使用団体一覧の集会所利用規約に基づく承認を行った。

次回 5/16(土) 役員会は大会議室で実施予定。

以上